

京都大学レジリエンス実践ユニット 主催

与野党全国会議員対象「MMT 勉強会」のご案内

今、国会内外で大きく注目されている、新しい経済理論「MMT：現代貨幣理論」。その要諦は、「財務省の公式見解でも明らかにされている通り、日本政府は円建ての国債で破綻する現実的リスクは存在しない。したがって、政府支出は、PB黒字化等ではなく、適正なインフレ水準（例えば2%程度）となる支出額を「上限」とすべきである。」というものです。一部メディアでは、「異端のトンデモ理論」などと揶揄する論調もありますが、その歴史は100年以上に及ぶ、極めて伝統的な経済理論です。そして、既に国会答弁でも、これまでの幾度かの質疑を通して、「MMTの正しさ」を明らかにする政府・日銀見解なども蓄積されつつあります。

こうした中、MMTは、批判するにせよ賛同するにせよ、これからの経済財政運営上、絶対に無視し得ない重要な理論となりつつあります。ついてはこの度、京都大学レジリエンス実践ユニットでは、党派を問えてあらゆる国会議員の先生方を対象としたMMT勉強会を企画いたしました。なお、先生方の回りの地方議員、市町村長、都道府県知事や自治体職員、学者、研究者等、ご興味のある方はどなたでも参加できますので、どうぞお声掛けください。

是非共、ご参加の程、何卒よろしくお願い致します。

京都大学レジリエンス実践ユニット長 藤井聡

与野党全国会議員対象「MMT 勉強会」

●主 催：京都大学レジリエンス実践ユニット

●講 師：藤井聡（京都大学レジリエンス実践ユニット長、京都大学教授）

●日 時：2019年10月8日(火)16:30～18:30

〈会場は15:00～19:30まで〉

●場 所：衆議院第一議員会館 1階「多目的ホール」

●問い合わせ：京都大学工学研究科藤井研究室事務局 (sec-tba@trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp)